

## 学習内容報告書 フォーマット

学校名	浅口市立寄島小学校
授業者	田淵 琢人 西山 寛子

### 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

#### 1-1. 単元名

「寄島の魅力を見て、触れて、発信しよう」

#### 1-2. 学年

5 学年

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習

#### 1-4. 単元の概要

##### 【寄島の魅力を知ろう】

第一次では、海に親しみをもつことを目標に、学習活動を展開する。NPO 法人 あさくちスポーツクラブ遊ぶところの方々と連携を取りながら計画や準備を進めていきたい。海での遊びに慣れていない児童が、寄島の魅力や海の楽しさを感じることができるよう活動にしたい。そこで、シーカヤックや SUP、海上アスレチックなどの魅力的なアクティビティを準備していただくことで、児童が意欲的に海と関わるようにしたい。

##### 【寄島の魅力を調べよう】

第二次では、寄島の海の魅力から関連して、第5学年で毎年学習しているアッケシソウについて扱う。アッケシソウは、海岸の塩水をかぶる砂地に群生する一年草である。本州で自生しているのは寄島町だけで、浅口市の天然記念物に指定されている。アッケシソウを守る会の花房泰志会長と連携をとりながら、学習を進めていきたい。アッケシソウの群生地を見学に行ったり保護活動を行ったりする予定である。海やアッケシソウをはじめとした寄島の魅力や郷土の誇りについては、実際に触れることで多くの学びを得ることができると考える。そこで、寄島にはさらに多くの魅力があふれているのではないかと仮説を立て、寄島の魅力に触れるためのフィールドワークに取り組みたい。また、クロームブックを1人1台所有しているため、調べ学習を通してフィールドワークに行くことができない魅力についても調べることができるようしていきたい。

##### 【寄島の魅力を発信しよう】

第三次では、今までの活動で知ったり触れたりした寄島の魅力を、多くの人に知ってもらえるような活動に移行していきたい。ホームページの作成や掲示物の作成などの方法で寄島の魅力を発信していきたい。また、今後も魅力を輝かせるために自分たちにできることは何だろうと考えることで、自分事として捉え、より一層寄島の魅力に興味をもつことができるようにしたい。そして郷土への誇りを感じることができる児童を少しでも増やしたいと考えた。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

寄島町に住む児童は、身近な海を見ながら成長してきた。しかし児童の実態を調べたところ、「海が近くにある」という認識程度で、海に行って遊んだことがあると答えた児童は少なかった。このことから、寄島町には海が近くにあるという事実は知っているが、海にある魅力や特性などについては、深く理解していないことが分かった。

次に、「先生に寄島の魅力を教えて」と児童に呼びかけた。児童は、

- ・海が近い ・海で遊べる ・人が優しい ・アッケシソウという草がある ・祭りがある
- ・牡蠣がおいしい ・おいしいお店がある ・平和

等、過去の学習や自らの経験を生かして、多くのことを発表することができた。これらのことから、寄島にいいところがあると感じている児童は多くいることが分かった。また、出てくる魅力が海に関するものが多くあったため、海に親しむ機会は少ないものの、やはり海が寄島の魅力なのではないかという考えをもっていることが分かった。よりしま学の学習計画を立てる際に、「寄島の海でどんなことがしたいか」と問いかけると児童からは、

- ・バーベキュー ・海水浴 ・釣り ・漁 ・シーカヤック ・貝殻拾い ・ゴミ拾い
- ・三ツ山への上陸 ・日焼け ・地引網

等の多様な意見が出た。新型コロナウイルス感染症への対策や授業時数の関係で、全てのアイデアを学習に取り入れることはできないが、できるだけ実践していくことにした。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・ 寄島の魅力や海の魅力を理解することができる。 【探究活動を通して身につけた知識・技能】
- ・ 寄島の魅力や海の魅力について、工夫して表現することができる。 【探究活動における思考・判断・表現】
- ・ 寄島の魅力や海の魅力について、進んで人と関わりながら学びに向かうことができる。 【人と関わりながら学習活動に取り組む態度】

1-7. 単元の展開（全56時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1 ～ 13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習計画を立てる。 寄島の魅力の確認 海でしたいことの確認</li> <li>・ 海岸でやりたいことについて話し合う。</li> <li>・ シーカヤック体験に向けて準備する。 活動内容、持ち物、パディ決めなど</li> <li>・ シーカヤック体験をする。</li> <li>貝殻拾い、生き物探し、砂遊び、ゴミ拾い 海遊び、シーカヤック、SUP</li> </ul>	<p>行動観察</p> <p>【あさくちスポーツクラブ遊ぶところ】</p> <p>【地域ボランティア】</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シーカヤック体験の振り返りをする。 関わって下さった方々の思いを確認する。</li> <li>・寄島の魅力は、海以外にもあるのか、調べ学習をする。</li> <li>・調べた魅力を発表する。</li> <li>・発表の振り返りをする。</li> </ul>	<p>発言 ドキュメント 行動観察</p> <p>スライド</p>
<p>14 ~ 36</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習計画を立てる。 アクセシソウについて調べ学習をする。</li> <li>・見学に向けて準備する。</li> <li>・緑のアクセシソウを見学する。(9月)</li> <li>・見学の振り返りをする。</li> <li>・次回のアクセシソウ見学に向けて、準備をする。</li> <li>・紅葉したアクセシソウを見学する。(10月)</li> <li>・見学の振り返りをする。</li> <li>・アクセシソウの保護活動をする。(11月) (寄島中学校1年生と共同作業)</li> <li>・保護活動の振り返りをする。</li> <li>・寄島魅力フィールドワークに向けて準備する。</li> <li>・寄島魅力フィールドワークを行う。 【アクセシソウを守る会会長 花房泰志さん】 【地域ボランティア】</li> <li>・フィールドワークの振り返りを行う。</li> </ul>	<p>ドキュメント</p> <p>行動観察 【アクセシソウを守る会会長 花房泰志さん】</p> <p>ドキュメント</p> <p>行動観察 【アクセシソウを守る会会長 花房泰志さん】</p> <p>ドキュメント 行動観察</p> <p>【アクセシソウを守る会 荒川さん】</p> <p>ドキュメント</p> <p>行動観察 ワークシート 発言 【嘉美心酒造】 【遊ぶところ 田中さん】 【まからずや】 【御船を守る会 笠原さん 村上さん 荒川さん】 【アクセシソウを守る会会長 花房泰志さん】 【地域ボランティア】</p> <p>ドキュメント</p>

<p>37 ~ 56</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べたことのまとめ方や発信の仕方について見直しをもつ。</li> <li>・触れた寄島の魅力について、発表の準備をする。</li> <li>・他のグループに魅力を発表する。</li> <li>・寄島の魅力のためにできることを考える。</li> <li>・調べた内容をホームページの形式にまとめる。</li> <li>・調べた内容をスライドだけでなく、資料を交えた発表に向けて準備する。</li> <li>・保護者と地域の方に向けて発表する。(参観日)</li> <li>・単元全体の振り返りをする。</li> </ul>	<p>行動観察 スライド 行動観察 スライド 行動観察</p> <p>行動観察</p> <p>発表 行動観察 【保護者】 【地域ボランティア】 発言 フォーム</p>
------------------------	--	---

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元 5 6 時間中の 4 2 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

寄島魅力フィールドワークで見つけた魅力を他のグループに発表し、寄島の魅力についてまとめよう。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
1 本時のめあてをつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まず、各グループで寄島の魅力について学んできたことを確認し、本時は発表することで、他のグループが見つけた魅力について知り、寄島の魅力をクラス全体でまとめていくことを確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>寄島の魅力を他グループに発信し、寄島のすばらしさをまとめよう。</p> </div>
2 本時の内容について確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時は特に、「学びの姿」の「すなおさ：とりいれる」を発揮して学んでいくことを知らせる。</li> <li>・本時の流れについて確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>① 1つのグループがスライドを使って発表する。                  ② そのグループが気付いた魅力について黒板にまとめる。                  ③ 他のグループの発表を見て気が付いた追加の魅力を班で話し合い、班でジャムボードに1枚付箋をはる。                  ①～③を繰り返す。</p> </div>
3 グループごとに発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに発表することで、全ての児童に活躍の機会を設ける。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p><b>【役割の分担】</b> 発表、ポインター、スライドを進める、短冊をはる</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○聞く姿勢や友達を認める姿（拍手、うなずき等）が素晴らしい児童を称揚し、全体で意識するよう促す。</li> <li>○ジャムボードを活用することで、聞いている人も自分の考えを表現することができるようにする。</li> <li>○自分の意見をもちにくい児童は、ジャムボードや黒板を手掛かりに、自分の意見をもつことができるよう</li> </ul>

<p>4 全体で共有する</p>	<p>にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全グループが発表後、各グループの話合いで出た意見を全体に共有し、本時のまとめにつなげる。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【予想される児童の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寄島には多くの魅力がある。</li> <li>・まだまだ知らない魅力が多くあった。</li> <li>・魅力同士で重なっている部分がある。</li> </ul> </div> <p>・「海が近い地域はどこも魅力であふれているのだろうか。」と語りかけることで、土地自体が素晴らしいだけでなく、関わっている人の思いや行動によって魅力は輝いていることを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてに照らして板書を概観した後、児童の言葉を基にまとめを行う。</li> </ul>
<p>5 本時のまとめをする。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>寄島には海だけでなく、様々な魅力があふれている。しかし、その魅力は寄島という場所が素晴らしいだけでなく、関わっている人の思いや行動が魅力を輝かせている。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○カードを示してクラス全体の「学びの姿」の振り返りを行うことにより、共に学ぶ集団としての頑張りを確認することができるようにする。</li> <li>○分かったことや考えたこととともに、「学びの姿」に照らして自分の学びを振り返ることができるようにする。</li> </ul>

### 3. 今回の活動の自己評価

・「魅力」というキーワードに絞って寄島について調べていくと、多くの魅力にあふれている地域であり、素晴らしいところに住んでいるという実感をもつことができた。それは郷土愛を育むことにつながるだろう。シーカヤック体験やアッケシソウ見学など、実際に見たり体験したりする活動が多いため、より実感しやすい環境が整っていると感じた。また、寄島の魅力をさらに感じたいと、地域に出向くフィールドワークを今年度から始めた。フィールドワークでは調べたい魅力ごとにグループをつくり、その魅力に関係のある地域の方々との交流の中で学びを深めることができた。この活動を通して、「寄島という場所は、様々な魅力があってすごい。」という考えから、「寄島の魅力は、関係している方々の思いや努力によって輝いている」という考えへと移行していた。このことから、「自分たちにも何かできるのではないか。」と寄島により関わろうとする姿勢や意欲につながったと考えられる。

・よりしま学は、横断的な学習であり、他教科とのつながりが深い。特に、社会科の「水産業のさかんな地域」の学習では、水産業に関わりのある寄島町でとれる牡蠣やその他の海産物について探求する活動を取り入れることで、主体的に学びを深めることができた。また、理科の「花から実へ」の学習では、実際にアッケシソウの花粉や種を顕微鏡で観察することで、郷土の植物がどのように自生していくのかという視点で、よりしま学に結びつけて考えることができた。

#### 4. 今後の課題

フィールドワークの活動後、1度行ってから分かることも多く、「もう1度行って〇〇のような活動がしたい。」などの意見が多く出た。今年度は時数や時期の関係で2度目のフィールドワークを行うことはできなかったが、理想は2度目のフィールドワークで「自分たちにできること」を各魅力につなげ、活動に取り組むことができれば、より活動に深みが出て児童の主体性も向上すると考えた。しかし、5つの活動場所に分かれるため、①各グループに大人がつく必要がある。②各魅力を見学する日時をそろえなければならないなどの難しい面がある。長期に渡る計画やボランティアの方々への声掛けなど、早め早めの準備が必要である。

- ・クロームブックを活用してよりしま学に取り組んできたが、誤操作によってデータが消えたり変わったりすることが多々生じた。一人一台端末の初年度ということもあり慣れていない点もあるが、まとめ方は今後も検討していく必要があると感じた。

#### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

屋外の活動が多い（特に海上）ので安全には十分に注意する。

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。